

2007 年度

科目名 倫理学 A	対象学科・学年 文学部日文1 回生 文学部英米1 回生 文学部文財1 回生 人間人社1 回生	担当者 池田 清
授業テーマ 人権思想 環境倫理 生命倫理 情報倫理		
授業の概要と目標 「地球温暖化って何やろ」（環境倫理）、「安楽死って何やろ」（生命倫理）、「DVD コピーして、ええんやろか」（情報倫理）、これらは、身の回りで感じる疑問です。授業は、こうした疑問に関して、法律や、暗黙の了解の背後にあるルールを洗い出します。その際、基本になるのは、人権（＝幸福追求権）という考え方です。「自分の幸福って何やろ」という発想をベースにして、環境倫理、生命倫理、情報倫理について自分なりの考え方をもつことが、授業の内容であり、目標です。		
評価方法 出席、レポート、本試験から総合的に評価します。		
テキスト テキストは使用しません。適宜資料を配布しますが、講義ノート中心です。	著者	出版社
参考書 授業中、その都度指示します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 【倫理学 A】 1 倫理学史 「幸福って何?」「〈正しい〉行動って何?」「社会のルールって何?」 2 応用倫理学の誕生 「環境倫理って何?」「生命倫理って何?」「情報倫理って何?」 3 生命倫理の誕生とその現在 「死ぬってどういうこと?」「子供を産むってどういうこと?」「医者と患者の関係って何?」 【倫理学 B】 4 環境倫理の誕生とその現在 「自然保護って何?」「みんなが幸福になれるのなら、少しぐらいの犠牲はしょうがないの?」 「(私)はしょうがないけど、子供や孫のことを考えると」ってどういうこと?」 5 情報倫理の誕生とその現在 「新聞と IT ってどう違うの?」「PC って何ができるの?」「プライバシーの侵害って何?」 ◎倫理学は、決して堅苦しい道徳ではありません。身の回りで起きていることに対して、普段は「それ、当たり前やん」と思っていますが、「そやけど、〈当たり前〉って、何で思うたんやろ?」と自問したとき、既に倫理学の入り口に立っているのです。「何で、優先座席で、おばあちゃんに席譲らなあかんねん」、「何で、人殺したらアカンねん」など、自分が知らない内にいつの間にか心にインプットされたルール・マナー・作法などに関して、「何で?」と疑問をもち、「みんなも〈当たり前〉と思うてるんやろか」、「〈当たり前〉って思うのは、みんなにとっても〈良いこと〉何やろか」など自問するのなら、倫理学に既に足を踏み入れています。 授業では、環境問題や医療問題などを扱いますが、皆さんを倫理学に誘うために、また学習したことを整理するために、二回に一回は授業中に 30 分程度の時間をとってレポートを書いてもらいます。 倫理学の授業を有意義で面白いものにするために、気楽に、しかも積極的に授業に参加して下さい。		